

「教育職員免許状」の取得

生物資源環境科学科の学生が、所定の単位を修得した場合は、次に掲げる教育職員免許状の授与資格を得ることができます。

山口大学で教員免許状を取得するためには、各学部の規定に従って教職課程を履修すると共に、「教職オリエンテーション」に参加し、4年次まで継続的に履修カルテを作成しながら、履修指導を受ける必要があります。取得を目指す免許状の学校種、教科の別に関わらず、「教職オリエンテーション」は1年後期に実施予定ですが、**参加にあたっては、1年前期に開講される「教職概論A」を必ず履修しておいてください。**「教職オリエンテーション」の実施日時等は、農学部掲示板等でお知らせします。

1. 教育職員免許状の種類及び教科について

教育職員免許法・同施行規則で規定する科目					取得可能な免許状		対象学科
基礎資格	教育職員免許法施行規則第66条の6で規定する科目	教科及び教科の指導法に関する科目	教諭の教育の基礎的理解に関する科目等	大学が独自に設定する科目	免許状の種類	免許教科	
学士の学位を有すること。	日本国憲法 2単位 体育 2単位 外国語コミュニケーション 2単位 情報機器の操作 2単位	24単位	23単位	12単位	高等学校教諭一種	農業	生物資源環境科学科

注) 教科に関する科目には「職業指導」2単位を含みます。

生物機能科学科においては、教育職員免許状を取得できません。

2. 教育職員免許状取得に必要な本学開設科目の履修について

(1) 教育職員免許法施行規則第66条の6で規定する科目

施行規則で規定する科目		分野	授業科目	単位数		履修方法
				必修	選択	
日本国憲法	共通教育	教職基礎	日本国憲法	2		2単位 選択必修
体育		スポーツ運動実習	スポーツ運動実習	1		
		運動健康科学	運動健康科学	1		
		外国語コミュニケーション	英語	英語会話Ⅰa		
英語会話Ⅱa					1	
英語会話Ⅰb					1	
英語会話Ⅱb					1	
情報機器の操作		情報処理	データ科学と社会Ⅰ	1		
			データ科学と社会Ⅱ	1		

(2) 専門科目

① 教科及び教科の指導法に関する科目

教科に関する専門的事項 20 単位以上 (別表 1)

各教科の指導法 4 単位 (別表 2)

② 教諭の教育の基礎的理解に関する科目等 23 単位以上 (別表 3)

③ 教科又は教職に関する科目 12 単位以上 (①又は②の余った単位数を充当)

別表 1 教科及び教科の指導法に関する科目(教科に関する専門的事項)

<必修科目>

授 業 科 目 名	単位数	授 業 科 目 名	単位数
農学入門 I	2	栽培学	2
農業経済学	2	園芸学	2
基礎農場実習	1	実践農場実習	1
基礎園芸学	2	◎食糧化学	2
農地環境工学	2		
* 職業指導	2		

◎印は生物機能科学科の授業科目(卒業に必要な専門科目には、生物機能科学科の専門科目を、6科目 12 単位 [関連科目 4 単位を除くと、4 科目 8 単位] まで含めることができます。)

*印は教育職員免許状取得のうえでは必修科目ですが、卒業に必要な単位数には算入されません。

<選択科目>

授 業 科 目 名	単位数	授 業 科 目 名	単位数
生物資源環境科学基礎実験	2	生産土壌学	2
植物生理学	2	応用昆虫学Ⅱ	2
遺伝学とバイオテクノロジー	2	農業市場学	2
生態学	2	測量・地理情報システム学	2
農業統計学	2	作物学汎論	2
応用情報処理学	2	家畜飼養管理学	2
作物学	2	植物病管理学	2
基礎土壌学	2	生物環境情報工学	2
植物栄養・肥料学	2	作物学実験	1
応用昆虫学Ⅰ	2	環境植物学実験	1
植物病理学	2	園芸学実験	1
農業気象学	2	植物工場学実験	1
植物育種学	2	動物栄養学実験	1
動物栄養生理学	2	植物病学実験	1
環境物理学	2	応用昆虫学実験	1
園芸利用学	2	土壌学実験	1
施設園芸学	2	農地気象環境学実験	1
環境計測学	2	農業経済学演習	1
植物病原菌学	2	地域農業実習	1

別表2 教科及び教科の指導法に関する科目(各教科の指導法)

免許法施行規則に定める科目区分等	最低修得単位数	左記に対応する本学開設科目		
		授業科目名	履修年次	単位数
教科及び教科の指導法に関する科目(各教科の指導法)	4	農業科教育法Ⅰ	2・3年生	2
		農業科教育法Ⅱ	3年生	2

別表3 教諭の教育の基礎的理解に関する科目等

免許法施行規則に定める科目区分等			山口大学開設授業科目			
科目	科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目名	単位数	履修方法	開設年次
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原論 A	2	必修	1年
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職概論 A	2	必修	1年
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育法規 A	2	必修	2年
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育場面の心理学 A	1	必修	2年
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育 A	1	必修	2年
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程論(カリキュラム・マネジメントを含む。) A	2	必修	1年
道徳、及び生徒指導、総合的な学習の時間等に関する科目	総合的な学習の時間の指導法	8	総合的な学習の時間指導法 A	1	必修	3年
	特別活動の指導法		特別活動 A	1	必修	2年
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		教育方法学(情報機器及び教材を含む。)	2	必修	2年
	生徒指導の理論及び方法		生徒指導概論 A	2	必修	2年
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		教育相談・進路指導 A	2	必修	3年
教育に関する実践科目	教育実習	3	事前・事後指導 教育実習(高)	1 2	必修	4年
	教職実践演習	2	教職実践演習(中・高)	2	必修	4年
教員の免許状取得のために必要な修得単位数				23 単位		

注) 教職実践演習を受講するためには、教育実習を履修済みであることが要件です。また、単位認定のためには、教員免許の取得に必要な教職実践演習以外の単位をすべて修得していなければなりません。詳細については、「教職オリエンテーション」で説明します。

教育実習を受けるための条件

科目区分	授 業 科 目 名	必要単位数	備 考	
教科及び教科の指導法に関する科目	教科の専門的事項に関する科目から選択	10単位		
	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	2単位		
教育の基礎的理解に関する科目	教職概論 A	2単位		
	教育原論 A	2単位		
	教育課程論（カリキュラム・マネジメントを含む。） A	2単位		
	教育法規 A 教育場面の心理学 A 特別支援教育 A	3科目から 2単位以上	2単位	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	生徒指導概論 A 教育方法学（情報機器及び教材を含む。） 特別活動 A 教育相談・進路指導 A 総合的な学習の時間指導法 A	5科目から 2単位以上	2単位	
教育実習開始時までに修得が必要な単位数合計		22単位		